



研究キーワード: 人工魚礁, 波浪エネルギー, HAp, 環境改善

## 最近の研究課題

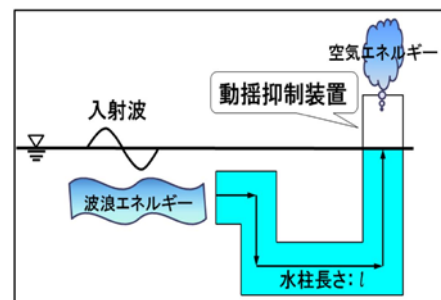
### 1. 潮流を利用した水産資源生産力向上技術の開発

自然エネルギーである潮の流れをコントロール可能な人工魚礁を開発し, 水産資源の減少に歯止めをかけ, 豊かな海を取り戻すための研究に取り組んでいます。



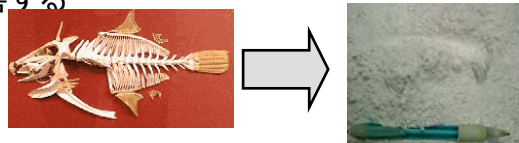
### 2. 振動水柱式波浪エネルギー吸収技術の開発

振り子の周期の原理を基にして, 振動エネルギーを空気エネルギーに変換して波浪エネルギーを吸収する装置や施設を開発します. この装置を海岸構造物に適用するための新しい防災施設の研究に取り組んでいます。



### 3. 魚類廃棄物の有効利用と環境改善

大量に廃棄処分される魚類残渣の身の部分から海域で不足する栄養補給剤, 骨の部分から天然無機素材HAp(ヒドロキシアパタイト)を生成し, 有害金属等で汚染された環境を改善する技術開発に取り組んでいます。



## 高校生の皆さんへ

香川大学工学部は, 全国的に有用な稚魚の保護・育成ブロックや新材料の開発およびそれを用いた環境改善, 資源生産力向上技術の先駆者的組織であり, 関連技術は複数の特許を取得して, これまでに数々の研究, 事業化実績があります. 皆さんも, 香川大学工学部で私たちとともに, 新しい発見, 工夫, 創造の世界を築いていきましょう。

連絡先: [suenaga@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:suenaga@eng.kagawa-u.ac.jp) [ <@> は @ に変更してください ]